

●営業時間の変更について

令和4年4月28日(木) 15:00まで営業

4月30日(土)・5月2日(月) 17:00まで営業

5月3日(火)・5日(木) 臨時営業(8:40~17:00)

※4月29日(金)・5月1日(日)・4日(水)は休業となります。

5月31日(火) 15:00まで営業

●野菜苗の販売について

現在、店頭にて販売中です。販売は5月中旬頃までの予定です。

●西部農機センター出張サービスについて

繁忙期のため、5月の出張サービスはお休みとさせていただきます。

——【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除 農薬の収穫前日数を遵守しましょう。

5月上旬

○カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫7日前 2回 100ml/水100㍓又は

モベントフロアブル 2000倍 収穫7日前 3回 50ml/水100㍓

○黒星病・すす斑病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 **33g**/水100㍓

5月中旬~下旬

○黒星病・すす斑病 アミスター10フロアブル 1,500倍 収穫前日 3回 66ml/水100㍓ 又は

パレード15フロアブル 2,000倍 収穫前日 2回 50ml/水100㍓

収 穫

梅酒用：大きい果実から順次収穫し収穫後の直射日光は避けましょう。

漬梅用：青みが抜けた大きいものから順次収穫しましょう。

——【キウイフルーツ】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

5月上旬 花腐細菌病 環状はく皮

蕾白化期(がく割れ) 5月1日頃に主幹に4~5.5mm幅で行いましょう。

5月中旬(開花前)

○カイガラムシ類 アプロードエースフロアブル 1,000倍 収穫前日 1回 100ml/水100㍓

キウイヒメヨコバイ

摘 蕾 5月上旬~中旬

早期に側花や変形花を除去し、受粉効率と初期肥大を良くさせます。

5月の強風を考慮して花数の調整をしましょう。

人工授粉 5月中旬~下旬

石松子を使った受粉 5~10倍 開花2~3日までに受粉しましょう。

溶液受粉 250~300倍 希釈してから2時間以内に使い切りましょう。

——【か き】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除 4月下旬～5月上旬

○カイガラムシ類・アザミウマ類 モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 収穫前日 3回 25g/水100ℓ

○落葉病 エムダイファー水和剤 650倍 収穫45日前 2回 153g/水100ℓ

摘蕾と人工授粉

摘蕾は伸長停止前後から開花期までに1結果枝に1蕾を基本とし、残す蕾は結果枝中央部の下向き・横向きとする。受粉作業は開花から2～3日の間に行いましょう。

——【温州みかん】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除 5月中旬～下旬

○灰色かび病・そうか病

フロンサイドSC 2,000倍 収穫30日前 1回 50 ml/水100ℓ 又は

ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100ℓ

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 3回 収穫14日前 25g/水100ℓ

そうか病発生園ではフロンサイドSCを散布しましょう。*かぶれには注意しましょう。

夏肥施用 5月下旬

みかん配合 200kg/10a (吸収率を高めるため 6月中旬と2回に分肥すると効果的)

施肥後、軽く中耕します。反射シート被覆のため秋肥が施用できない場合は夏肥を多めにしましょう。

葉面散布 樹勢が低下している樹では尿素600倍を散布し、樹勢の回復を図りましょう。

——【中晩柑】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除 5月中旬～5月下旬

○灰色かび病 ストロビードライフフロアブル 3,000倍 収穫14日前 3回 33g/水100ℓ

※灰色かび病防除は満開から落弁期にかけて散布します(多発園は2回)

○コアオハナムグリ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 収穫14日前 3回 25g/水100ℓ

湘南ゴールド・はるみ(かいよう病に弱い品種) 5月中旬～5月下旬

○かいよう病【単用散布】

コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ

+ クレフノン 200倍 500g/水100ℓ (葉害軽減のために加用する)

※マシン油散布とは2週間以上あける

湘南ゴールド、はるみ、レモンは、かいよう病に罹病しやすいので薬剤による防除をしましょう。

栽培管理・樹勢強化

葉面散布 5～8月に不知火・はるみの樹勢強化を目的に尿素600倍の葉面散布を行いましょう。

はるみは、着花量が多いと樹勢の低下につながります。

はるみ、不知火は上部1/3～1/4を摘蕾や早期摘果をし、樹勢の強化を図りましょう。

——【お茶】——

生葉管理

摘採した生葉は、長時間かごや袋につめて茶園に放置すると、品質が悪くなりますので注意しましょう。(日中の気温が高い日等は特に)

更新

樹高が高くなりすぎた園や極端な芽数型の園は、深刈りや中切り更新をしましょう。